

第124回直木賞受賞「ビタミンF」より

セツちゃん

主演／近藤芳正 原作／重松清

「いじめ、止まんないよ。
そんなに現実つて甘くないもん」

文部科学省選定



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

<http://www.toei.co.jp/edu>

上映時間34分

16ミリ版 231,000円（本体 220,000円）

ビデオ版 94,500円（本体 90,000円）

[C#4203]

企画・制作／東映株式会社 教育映像部

プロデューサー／真野友也

川津一修

監督／竹内雅俊

脚本／中川良平

制作協力／ユニットワークス

企画・制作／東映株式会社 教育映像部

ある日、加奈子が「セツちゃん」という転校生について話した。

物語

高木家はどこにでもある普通の家族。サラリーマンの父・雄介・専業主婦の母・和美に、中学2年生の娘・加奈子がいる。加奈子は優等生である。

ある日、加奈子が「セツちゃん」という転校生について話した。「みんなから速攻で嫌われちゃったの。

とにかく生意気で、いい子ぶってるんだよ」と言うと、「加奈が面倒をみてやればいいだろう、友達なんだろう」と雄介がきりかえす。加奈子は黙つたままだった。

以来、加奈子は頻繁に「セツちゃん」のことを話すようになった。「セツちゃん」は、運動会でのダンスの練習でも仲間外れにされ、「人だけ違う振りで踊っていた」という…。さらに加奈子は、両親に、運動会に来ないようと言うのだった。

運動会当日、雄介・和美は学校へと向かった。そこで見たものは、みんなのダンスについていけずに、一人だけ違う振りで踊る加奈子の姿。

担任の原に聞くと、「振りをど忘れした」と加奈子が言ったという。さらに「セツちゃん」という転校生も存在しないことが判明した。

その後も加奈子は「セツちゃん」のことを話し続けた。悩んだ和美は、原に相談に行くが、加奈子が生徒会長に立候補していることを教えられる。「本当にいじめに遭っているんなら、立候補なんてしないでしょう」と原はいじめを否定した。

両親の心配をよそに、加奈子はさらに作り話を続けた。雄介が「セツちゃん」を家に呼ぶように言うと、「セツちゃん」と電話で喧嘩する芝居までするのがだつた。

加奈子は生徒会長に当選したが、選挙の投票用紙にむ「いことを書いた子が何人もいた。いじめに気づいた原は、両親を学校に呼び「彼女がご両親にセツちゃんのことを話して続いているのは、ご家庭の中でも必ず自分の居場所を失うまいと考えたからじゃないでしようか」と話す。

担任の原の言葉にショックを受けた雄介は、会社にも家にも戻らずあてもなく歩いた。街角の民芸品店で「身代わり雛」と命名された流し雛と出会う。川に流すと、娘の不幸を全て持つていてくれる人形だという。

週末朝早く、雄介は加奈子を起こして、家族で河原に向かった。そこで、「身代わり雛」を取り出し加奈子に渡す。「流そう!」と雄介が言うと、加奈子が「流しても、いじめ、止まんないよ。そんなに現実って、甘くないもん」と言う。それに対して雄介も「現実は厳しいんだ。大人も、子どもも」と言う。

加奈子は、「身代わり雛」を水に浮かべる。ゆっくり流れしていく雛に手を振り、顔を手で覆う。

その様子を両親が見守っている。

2004年作品

対象と用途

- 小学校(3~6年)、中学校 : 特別活動、総合的な学習の時間(人権教育)
- 成人向 : 家族のあり方



重松清著
新潮文庫刊
全国書店で好評発売中
(定価540円税込)



関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 ☎730-0013 ☎082-511-2066

高松出張所 高松市本町11-7 ☎760-0032 ☎087-851-3766

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 ☎810-0801 ☎092-262-3101

●お買上げは… (株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101